

## (例) かもめ高等学校 (1学年) 休業期間中 (4月27日～5月1日) の学びについて

臨時休業期間中に生徒が授業を十分に受けることができないことによって、学習に遅れが生じることのないよう、学校、生徒の状況等も踏まえながら、家庭学習の課題を課す等により、生徒の学習を支援するための必要な措置を講じるようお願いします。

家庭学習により単元の学習を完結させることを想定し、単元の評価規準に基づき、課題を作成してください。課題を提示する際には、本資料を参考に、学習の目標及び評価について記載し、一覧にして提示したりするなど、生徒が学習を進めやすいよう御配慮ください。なお、観点別学習状況の評価は、基本的に「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」、「知識・理解」の観点について行うこととされていますが、本資料では、一週間分の課題として示していることを踏まえ、一部の観点についてのみの評価としている科目があります。

教科	科目名	単元又は題材	学習の目標	課題等	評価について
国語	国語総合	「文章を読んで、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする」	<p>○文章や作品を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしようとする。</p> <p>○文章や作品を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。</p> <p>○語句の意味、用法及び表記の仕方を理解し、語彙を豊かにする。</p>	<p>○教科書にある文章や作品などを読んで、共感したり、疑問に思ったり、自分なりに考えたりしたことを文章にまとめる。</p> <p>○文章や作品を読むのに必要な語句の意味や用法等を確認するため、辞書等の補助教材を活用し、調べたことについてもまとめる。その際、インターネット等を活用することも考えられる。</p> <p>○学習の目標を意識して見通しを立て、学習を進める中で気付いた点や工夫した点等を振り返りシートに随時記入する。</p>	<p>○提出された文章により、目標に記された「読むこと」及び「知識・理解」を評価する。また、提出された文章と振り返りシートにより、学習の進め方について試行錯誤した点等を「関心・意欲・態度」として評価する。</p> <p>※ この学習では、「文章にまとめる」書く活動を行うが、「文章をどのように読んだのか」読む力を評価する。</p> <p>【評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章や作品を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしようとしている。(関心・意欲・態度)</li> <li>・文章や作品を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。(読む能力)</li> <li>・語句の意味、用法及び表記の仕方を理解し、語彙を豊かにしている。(知識・理解)</li> </ul>
地理 歴史	世界史A	「世界史へのいざない」	<p>○「世界史へのいざない」の学習として、日本の歴史と世界の歴史のつながりにかかわるテーマを考察することの大切さを自覚する。</p>	<p>○教科書を参考に、日本の歴史と世界の歴史のつながりにかかわる事例を自分で取り上げて、自分で調べてまとめる。</p> <p>○日本の歴史と世界の歴史のつながりについて、資料集や図説をインターネット等を活用し、歴史的に考察するとともに、その過程や結果を調べ、レポートにまとめる。</p> <p>○事例の考察に必要な諸資料について、図表などにまとめたりしたことをレポートに添える。(写真や図版などを添えることも考えられる)</p>	<p>○レポートの内容・振り返りを「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「資料活用の技能」の評価材料として評価する。</p> <p>【評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の歴史と世界の歴史のつながりについて、テーマを設定し考察することで、歴史への関心を高めようとしている。(関心・意欲・態度)</li> <li>・主題設定した学習を通して、日本の歴史と世界の歴史のつながりについて、歴史的に考察するとともに、その過程や結果を適切に表現している。(思考・判断・表現)</li> <li>・主題設定した学習を通して、事例の考察に必要な諸資料について、有用な情報を読み取ったり図表などにまとめたりしている。(資料活用の技能)</li> </ul>
	日本史A	「私たちの時代と歴史」	<p>○近現代の歴史的事象と現在との結び付きを考える活動を通して、歴史への関心を高め、歴史を学ぶことの大切さを自覚する。</p>	<p>○教科書や副教材(資料集や図説)を参考に、近現代の歴史的事象と現在との結び付きを考えるためのテーマを設定し、レポートにまとめる。</p> <p>○近現代の歴史的事象と現在との結び付きについ</p>	<p>○レポートの内容・振り返りを「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「資料活用の技能」の評価材料として評価する。</p> <p>【評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近現代の歴史的事象と現在との結び付きを考えることで、歴史</li> </ul>

				<p>て、身近な例を考察し、それを教科書や資料集、インターネット等を活用し、その過程や結果をレポートにまとめる。</p> <p>○事例の考察に必要な諸資料について、表やグラフなどにまとめてレポートに添える。(写真や図版などを添えることも考えられる)</p>	<p>への関心を高めようとしている。(関心・意欲・態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有意義なテーマを設定し、自ら考察し、その過程や結果を適切に表現している。(思考・判断・表現)</li> <li>・主題設定した学習を通して、事例の考察に必要な諸資料について、有用な情報を読み取ったり図表などにまとめたりしている。(資料活用の技能)</li> </ul>
	地理A	「現代世界の特色と諸課題の地理的考察」	<p>○「現代世界の特色と諸課題の地理的考察」の学習として、世界諸地域の生活・文化及び地球的課題について考察することの大切さを自覚する。</p>	<p>○教科書や副教材(資料集や図説)を参考に、世界諸地域の生活・文化及び地球的課題について、自らテーマを設定し、自分で調べてレポートにまとめる。</p> <p>○自分が関心ある世界諸地域の生活・文化及び地球的課題を調べる際、その過程や結果を適切に示し、レポートにまとめる。</p> <p>○活用した諸資料については表やグラフなど図表としてまとめ、レポートに添える。(写真や図版などを添えることも考えられる)</p>	<p>○レポートの内容・振り返りを「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「資料活用の技能」の評価材料として評価する。</p> <p><b>【評価規準】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界諸地域の生活・文化及び地球的課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。(関心・意欲・態度)</li> <li>・世界諸地域の生活・文化及び地球的課題を考察し、その過程や結果を適切に表現している。(思考・判断・表現)</li> <li>・世界諸地域の生活・文化及び地球的課題に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。(資料活用の技能)</li> </ul>
公民	現代社会	「現代社会の諸課題」	<p>○現代社会における諸課題を扱う中で、社会の在り方を考察する基盤としての幸福、正義、公正などについて理解するとともに、現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考察することの大切さを自覚する。</p>	<p>○生命、情報、環境などに係る現代社会の諸課題の中から自らテーマを設定し、これらの課題に対しては多様な見方・考え方があることを踏まえた上で、課題解決に対する自分なりの考えをレポートにまとめる。</p>	<p>○レポートの内容から「関心・意欲・態度」及び「思考・判断・表現」の観点について評価する。</p> <p><b>【評価規準】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的課題について、自己との関わりの中で考察し、その解決の在り方を主体的に追究しようとしている。(関心・意欲・態度)</li> <li>・現実社会の諸課題及び「幸福、正義、公正」などの価値観には多様な見方・考え方があることを踏まえた上で、自分なりの「幸福、正義、公正」について追究し、それに基づき社会的課題の解決の在り方を考察している。(思考・判断・表現)</li> </ul>
数学	数学I	「式の展開と因数分解」	<p>○二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め、式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりすることができる。</p>	<p>○教科書を参考に学習を進め、教科書に取り上げられている、式の展開及び因数分解などの問題に取り組む。</p> <p>○式変形の根拠をポイント毎に記述したり、式の展開及び因数分解について問題解決の方略をまとめたりする。</p>	<p>○解答の記述内容や、式変形の根拠についての記述、問題解決の方略のまとめの記述から「知識・理解」、「数学的な技能」、「数学的な見方や考え方」の観点で評価する。</p> <p><b>【評価規準】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乗法公式や因数分解の公式の意味を理解している。(知識・理解)</li> <li>・乗法公式や因数分解の公式などを用いて式を目的に応じて変形することができる。(数学的な技能)</li> <li>・一つの文字に着目したり、一つの文字に置き換えたりするなどして、いろいろな式の見方をすることができる。(数学的な見方や考え方)</li> <li>・目的に応じて、的確に式を変形する方法を考察することができる。(数学的な見方や考え方)</li> </ul>

理科	生物基礎	生物と遺伝子「遺伝子とその働き」	○タンパク質の合成に際して、DNAの塩基配列がアミノ酸に置き換えられることについて考察し、表現できる。	○教科書や副教材等を活用して、DNAとRNAの塩基の相補性に関する基本的事項を身に付け、実験内容に関する考察問題に取り組む。	○レポートの内容を「思考・判断・表現」の評価材料として評価する。 【評価規準】 ・DNAの塩基配列がアミノ酸に置き換えられることについて考察できる。(思考・判断・表現)
		生物の体内環境「免疫」	○免疫とそれに関わる細胞の働きについて理解し、知識を身に付ける。	○教科書や副読本等を活用して、免疫とそれに関わる細胞の働きについて、身近な現象と関連付けてまとめる。	○レポートの内容を「知識・理解」の評価材料として評価する。 【評価規準】 ・免疫とそれに関わる細胞の働きについて身近な現象と関連付けて理解している。(知識・理解)
	物理基礎	「運動の表し方」	○身近な物理現象について、物理量の測定と表し方、分析の手法を理解する。	○教科書を参考に、単元で用いられる物理用語について、日常生活や社会と関連付けて自分でまとめる。	○レポートの内容・振り返りを「知識・理解」の評価材料として評価する。 【評価規準】 ・物理用語について、言語、数式及びグラフを適切に用いてまとめることができる。(知識・理解)
			○物体の運動の基本的な表し方について、理解する。	○直線上の運動における $v-t$ グラフまたは $x-t$ グラフからどのような運動か、数式、図示及び言語で表す。また、数式、図示及び言語で表された運動を $v-t$ グラフ又は $x-t$ グラフで表す。	○レポートの内容を「知識・理解」の評価材料として評価する。 【評価規準】 直線上の運動について、言語、数式及びグラフを用いて適切に表すことができる。(知識・理解)
			○合成速度及び相対速度の考えを用いて、2物体の運動を考察し、表現できる。	○運動する2つの物体について、それぞれの立場や静止する観測者の立場から観測される運動を、合成速度及び相対速度の考えを用いて、数式、図及び言語でまとめる。	○レポートの内容を「思考・判断・表現」の評価材料として評価する。 【評価規準】 2物体の運動について、合成速度および相対速度の考えを用いて、数式、図及び言語で表すことができる。(思考・判断・表現)
	保健 体育	体育	体育理論	○スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴等について理解する。	○「学習プリント」に示した各時間のテーマに沿った問いに基づき、教科書等を活用して調べたり、自分の考えをまとめたりする。 ※2週又は3週にわたり取り組むこと。
保健		現代社会と健康(健康の考え方)	○我が国の死亡率、平均寿命、受療率など各種の指標を通して健康水準の動向を取り上げ、科学技術の発達や社会経済の発展に伴って健康水準が向上してきたこと、さらに、疾病構造が変化してきたことを理解する。	○教科書等を参考に、わが国における健康水準の変化、わが国における健康問題の変化についての問いに基づき、自分の考えをまとめる。	○提出された課題の解答や、記述の内容から、「知識」、「思考・判断」の観点で評価をする。 【評価規準】 ・健康水準の変化、健康問題の変化について資料等で調べたことを基に、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明することができる。(思考・判断) ・平均寿命ののびと死亡率の低下、健康水準向上の背景、生活習慣病の増加、新たな健康問題について、基礎的な事項について、理解したことを記述している。(知識・理解)

芸術	音楽 I	「生活の中の音楽の役割について考えてみよう」	○音や音楽と生活や社会とのかかわりについて考え、音環境への関心を高める。	○「現在の社会情勢を踏まえ、生活の中の音楽の役割について、自分の考えを 400 字～600 字で、レポートにまとめる。	○レポートについては、記述内容を「音楽への関心・意欲・態度」の観点で評価する。 【評価規準】 B「鑑賞」 ・生活の中の音楽について考えることをとおして、音楽の見方、考え方を豊かにし、作曲者及び演奏者による表現の特徴などに関心をもち、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとしている。(音楽への関心・意欲・態度)
				○「現在の社会情勢を踏まえ、生活の中の音楽の役割について、自分の考えを 400 字～600 字で、レポートにまとめる。	○レポートについては、記述内容を「音楽への関心・意欲・態度」の観点で評価する。 【評価規準】 A「表現」 ・生活の中の音楽について考えることをとおして、音楽の見方、考え方を豊かにし、音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱（器楽、創作）の学習に主体的に取り組もうとしている。(音楽への関心・意欲・態度)
	<b>【課題を設定するにあたって】</b> 授業の中で表現したり鑑賞したりする多くの楽曲について、それらを創作した著作者や実演奏家等がいることや、その人たちの作品であることを生徒が意識できるようにし、このような意識を高めることによって、日常生活の中にある音楽、将来かかわっていく音楽についても、同様に意識できるようにさせる。				
美術 I	美術 I	「身近なものを描く（静物デッサン）」	○静物デッサンの表現形式の特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表す。 ○価値意識をもって自分の作品に対する見方を深める。	○「身近なものを描く」というテーマをもとに静物デッサンに取り組む。 ○無理なく準備できる画材・素材を用いて、創造的な表現の構想を練ったり、意図に応じて材料や用具の特性を生かしたりしながら、制作に取り組む。 ○その際、質感の異なるものを 2 つ以上組み合わせる静物デッサンに取り組む。  ※画材・素材の例 ・ B 4（八つ切り）サイズ程度の画用紙 ・ 黒さ、硬さの異なる鉛筆 3 種類程度（4 B・B・H など） ・ 消しゴム（あれば練りゴムも）、ガーゼ又はティッシュ	○制作過程の記録、完成作品の自己鑑賞についてレポートにまとめる。「発想や構想の能力」「鑑賞の能力」の観点で評価する。 【評価規準】 ・静物デッサンの表現形式の特性を生かし、形体、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。（発想や構想の能力） ・自分の作品のよさや美しさ、意図と表現の工夫などを振り返り、作品に対する見方や感じ方、考えなどをもち、根拠を持って記述している。（鑑賞の能力） ○作品については「創造的な技能」の観点で評価する。 【評価規準】 ・技法や材料、用具の特性を理解し、目的や意図に応じて、特性や効果を生かして表現している。（創造的な技能）
		「静物画の比較鑑賞」	○静物画の比較鑑賞を通じて、対象作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫などについて考え、価値意識をもって対象の作品に対する見方や感じ方を深める。	○B「鑑賞」の学習として、教科書に掲載されている静物画を 2～3 作品抽出し、比較鑑賞を行う。 ○作品のよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などについて、とくに次の点について、それぞれの作品をみくらべ、感じ取ったり、考えたりしたことをレポートにまとめる。	○レポートの記述内容をもとに「美術への関心・意欲・態度」及び「鑑賞の能力」の観点で評価する。 【評価規準】 比較鑑賞を通じ、それぞれの作品のよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などに関心をもち、作品などについて理解しようとしている。（美術への関心・意欲・態度）

				<ul style="list-style-type: none"> <li>・作者の作品に対する想いやテーマについて</li> <li>・色彩の表現の特徴や工夫について</li> <li>・形体や構図の表現の特徴や工夫について</li> <li>・質感や空間の表現の特徴や工夫について</li> </ul>	比較鑑賞を通じ、それぞれの作品の特徴を分析するなどして、作品に対する見方や感じ方、考えなどをもち、根拠を持って記述している。(鑑賞の能力)
外国語	コミュニケーション英語 I	Lesson 1 “Take a shot or not”	<p>○最近の若者の SNS 依存に関する英文を読んで、情報や筆者の考えなどを理解したり、概要や要点を捉えたりすることができる。(「読むこと」の領域)</p> <p>○最近の若者の SNS 依存に関する英文を読んで、学んだことや経験したことに基づき、情報や自分の考えについて、簡潔に書くことができる。(「書くこと」の領域)</p>	<p>○Read the passage of the textbook, and write an essay. (100-200 words)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・The topic of the essay is: “Do you take out your smartphone and take pictures of the beautifully-decorated, delicious-looking dishes in front of you while eating out with some of your friends or not?”</li> <li>・In your essay, you need to answer the following questions.</li> </ul> <p>Q1. According to the author, what makes a lot of young people upload pictures of good-looking food to SNS?</p> <p>Q2. Do you think it rude to take photos at a restaurant?</p> <p>Q3. Why do you want to take photos of the food or why not?</p>	<p>○エッセイの内容について、「外国語表現の能力」及び「外国語理解の能力」の観点で評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストを読んで、特に重要な事実等を捉え、全体の要旨を理解することができる。(外国語理解の能力)</li> <li>・読んだことについて、その内容に対する自分の考えを簡潔に書くことができ、その理由を書くことができる。また、事実と意見を区別して書くことができる。(外国語表現の能力)</li> </ul>
家庭	家庭基礎	「ホームプロジェクト」	<p>○生活上の課題を設定し、解決に向けて生活を科学的に探究したり、創造しようとする実践的な態度を身に付ける。</p>	<p>○教科書の「ホームプロジェクト」の例を参考に、生活上の課題を見つけ、解決方法を考える。</p> <p>例えば、保育分野では、小さな子どものために家の中でも楽しめるおもちゃや絵本を作る。食生活分野では、日本の四季や文化を感じられる和食の献立を考えて調理する。消費生活分野では、家庭ごみの行方を調べ、自分ができる資源・環境に配慮した消費生活について考えるなど、外出できない現在の社会情勢や家の中で気になっていることなどについて取り組み、レポートにまとめる。</p>	<p>○レポートの内容を「関心・意欲・態度」の評価材料とする。</p> <p><b>【評価規準】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活上の課題を設定し、解決に向けて生活を科学的に探究したり、創造しようとしたりしている(関心・意欲・態度)</li> </ul>
情報	社会と情報 情報の科学	(社)「情報とメディアの特徴」 (情)「情報社会の発展と情報技術」	<p>○情報社会に参画する態度の育成として、情報モラルについて考え、行動できる。</p>	<p>○オンライン・オフラインを問わず、必要な情報を取捨選択する際、何を根拠にその情報を信じるのかについて、(配付した資料、参考 URL、教科書等を基礎知識として)自分自身の考えをレポートにまとめる。</p>	<p>○レポートの内容を「関心・意欲・態度」及び「知識・理解」の評価材料として評価する。</p> <p>(※観点設定については、適宜選択しましょう。)</p> <p><b>【評価規準】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自身の生活や行動に照らし、情報の特性を踏まえ、考えをまとめようとしている。(関心・意欲・態度)</li> <li>・資料に挙げた、基本的な用語について、正しく理解して用いている。(知識・理解)</li> </ul>

総合的な探究の時間	「課題の設定と計画の立案」	○身近な地域の環境の中から問いを見だし、課題を設定する。	○身近な地域の環境について、インターネット等により、様々な視点から情報を収集し、問いを見いだすため、集めた情報から気付いたことをまとめる。 ※2週にわたり取り組むこと。	○学習の成果物の内容を「主体的に学習に取り組む態度」の評価材料として評価する。 【評価規準】 ・課題の設定に主体的に取り組んでいる。(主体的に学習に取り組む態度)
農業と環境 (1年)	「たねと発芽・たねまき」	○たねの基本構造と発芽に必要な環境条件を理解する。	○発芽試験において、推察・考察する活動を通し、課題に対する取り組み方やまとめ方など、実験の基礎的能力を身に付けさせる。 ※農業の専門科目を初めて学ぶ1年生に対し、光の条件や種子の種類などを変えて自宅にて発芽試験を行い、播種後の発芽した数の調査や、発芽の様子を観察を通して、学習内容の理解を深めさせ、作物の栽培学習につなげていくことをねらいとして実施する。	○たねの基本構造、形態と機能、発芽に必要な環境条件の理解をまとめた記述から「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」の観点で評価する。 【評価規準】 ・作物の栽培や農業学習に関心をもち、生育の仕組みや栽培技術について科学的に捉えようとする意欲的な学習態度を身に付けている。 (関心・意欲・態度) ・発芽試験において、推察・考察する活動を通し、課題に対する取り組み方やまとめ方など、実験の基礎的能力を身に付けている。 (思考・判断・表現)
農業	農業各科目(2、3年)	○教科書や補助教材などを使って授業内容の振り返り学習を行うことで、理解した知識の定着を図る。  ○これまでの実習等を振り返り、データの整理やまとめを行ったり、ホームプロジェクトに関するレポートを作成したりする。  ※学校農業クラブ活動に関する学習として、これまでの資料を分析・整理し、意見発表の内容を考えてまとめる、プロジェクト活動に関する資料・データを収集・整理する、各技術競技に関する学習・練習等が考えられる。 ＜活用できるリンク集＞ 日本学校農業クラブ連盟ホームページ	○学習の成果物の記述や内容から、「知識・理解」、「思考・判断・表現」の観点で評価する。 【評価規準】 ・農業生産等に関する基礎的な知識を身に付け理解している。(知識・理解) ・基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に判断している。(思考・判断・表現) ○作成したレポート等の内容から「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」の観点で評価する。 【評価規準】 ・農業に関する諸課題について関心をもち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けようとしている。(関心・意欲・態度) ・農業に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、知識・技術を基に農業に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けようとしている。(思考・判断・表現)	

工業	工業技術 基礎	建設科 「図面の表し方」	○製図の基礎を習得させ、基礎的な図面の読み取りや作成する能力を身に付ける。	○教科書を用いてレポートにまとめる。(その際レポートの書き方について分かりやすくまとめたガイダンス資料を提供する。) ○図面の表し方を基本に自ら考えたものを複数上げ、図面で表現する。 ○作品をもとに自ら振り返り、学習の目標が達成できたか自己評価を交えてレポートにまとめる。(レポートには先生のコメント欄を作成し、アドバイスを記し生徒へフィードバックする。)	○生徒作品をもとに学習の目標が達成できたか、レポートの内容及び図面の表現について、「思考・判断・表現」、「実習の技能」、「知識・理解」の観点で評価する。 <b>【評価規準】</b> ・基本的な図面の見方や表し方や書き方について、適切に思考・判断し正確な図面を作成する表現手法を身に付けている。(思考・判断・表現) ・基本的な図面の見方や表し方や書き方を身に付け、正確な図面を作成する技能を身に付けている。(実習の技能) ・基本的な図面の見方や表し方や書き方を理解し、正確な図面の作成に関する知識を身に付けている。(知識・理解)
	情報処理	「情報モラル」	○情報化社会に参画するための情報モラルを理解し、活用することができる。	○NHK「高校講座」ライブラリー「社会と情報」を見ながら、学習メモに学んだことを記入し、最後には理解度チェックを行う。	○記述した学習メモ及び理解度チェックを行ったものから、「知識・理解」、「思考・判断・表現」の観点で評価する。 <b>【評価規準】</b> ・コンピュータウイルスやコンピュータ犯罪、著作権の侵害、システム事故などの情報化社会の危険性や問題点について具体的に説明することができる。(知識・理解) ・利用者として、ネットワーク上の被害者や加害者にならないために配慮すべきモラルやマナーについて正しく理解している。(知識・理解) ・情報化社会の一員として、モラルやマナーに関して正しい知識と判断に基づいた行動ができる。(思考・判断・表現)
商業	簿記	「資産・負債・純資産と貸借対照表」	○資産・負債・純資産(資本)の意味を明らかにし、これらの相互関係を理解し、簡単な貸借対照表を作成できる。	○NHK「高校講座」ライブラリー「簿記」を見ながら、学習メモに学んだことを記入し、最後には理解度チェックを行う。	○記述した学習メモ及び理解度チェックを行ったものから、「知識・理解」、「思考・判断・表現」の観点で評価する。 <b>【評価規準】</b> ・資産・負債・純資産(資本)の分類ができ、意味の説明及び資本等式の計算ができる。(知識・理解) ・貸借平均の原則を理解した上で貸借対照表が作成できる。(思考・判断・表現)
	ビジネス基礎	「ビジネスとコミュニケーション」	○社会人としての心がまえ、身だしなみはもちろん、おじぎや名刺交換、電話応対などの基本的なマナーができる。	○NHK「高校講座」ライブラリー「ビジネス基礎」を見ながら、学習メモに学んだことを記入し、最後には理解度チェックを行う。	○記述した学習メモ及び理解度チェックを行ったものから、「知識・理解」、「思考・判断・表現」の観点で評価する。 <b>【評価規準】</b> ・ビジネスマナーの重要性を理解し、基本的なビジネスマナーや場面に応じたビジネスマナーについて基本的・基礎的な知識が身に付いている。(知識・理解) ・基本的なビジネスマナーの意義や場面に応じたビジネスマナーの重要性について考察できる。(思考・判断・表現)

水産	水産海洋 基礎	「海洋関連産業」	<p>○海にかかわる主な産業の種類と内容を理解する。</p> <p>○地域の海洋関連産業を調べ、就職する際の企業と関連づける。</p>	<p>○教科書の内容やインターネット等による情報を参考に、多岐にわたる海に関わる産業について、どのようなものがあるかまとめる。</p> <p>○学校の求人票を参考に、どの企業が海洋関連産業なのかを調べる。</p> <p>○インターネット等を用いて、他にどのような海洋関連産業に関わる企業があるか、具体的に企業名を挙げて、業務内容を説明する。</p>	<p>○提出されたワークシートにより、調べた産業や具体の企業についての内容を踏まえて、「技能」を評価する。また、学習の進め方について試行錯誤した点等を「関心・意欲・態度」として評価する。</p> <p>※ この学習では、「どれだけ調べられたか」とおして、我が国の海洋関連産業の種類や課題について理解する力を評価する。</p> <p><b>【評価規準】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海洋関連産業について興味・関心をもち、それらが国民生活に果たしている役割を探究しようとしている。（関心・意欲・態度）</li> <li>・海洋関連産業に関する様々な資料や情報を収集し、適切に選択して活用している。（技能）</li> </ul>
看護	基礎看護	「看護の意義と役割」	<p>○看護の意義と保健・医療・福祉における看護の役割について理解し、看護を学ぶ上での基礎的な態度・姿勢を身に付ける。</p>	<p>○教科書及び副読本「看護覚え書」を読んで、看護の意義や看護の役割について、自分なりに考えたことをまとめる。</p>	<p>○提出されたワークシート等により、目標に記された「関心・意欲・態度」及び「知識・理解」を評価する。</p> <p><b>【評価規準】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護に対し、関心・意欲をもち、望ましい態度で臨もうとしている。（関心・意欲・態度）</li> <li>・看護の意義と看護の役割について基礎的な知識がある。（知識・理解）</li> </ul>
福祉	社会福祉 基礎	「社会福祉の理念と意義」	<p>○日本国憲法や社会福祉法、地域共生社会、近年の国際的な福祉の考え方を踏まえて、社会福祉の理念について理解する。</p> <p>○我が国の社会保障制度と国民生活との関連について理解する。</p>	<p>○教科書やインターネット等を用いて、日本国憲法、社会福祉法などにおいて、我が国の福祉に対する考え方がどのように記載されているかをまとめる。</p> <p>○我が国の社会保障制度について、私たちの生活にどのように関係しているかを具体例をあげてまとめる。</p>	<p>○提出されたワークシート等により、「関心・意欲・態度」及び「知識・理解」を評価する。</p> <p><b>【評価規準】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活や自立の概念、日常生活と福祉、社会福祉理念の変遷などについて理解しようとしている。（関心・意欲・態度）</li> <li>・社会福祉の展開に関する課題を発見し、私たちの生活にどのような影響があるかを探究している。（思考力・判断力・表現力）</li> </ul>